Jabra

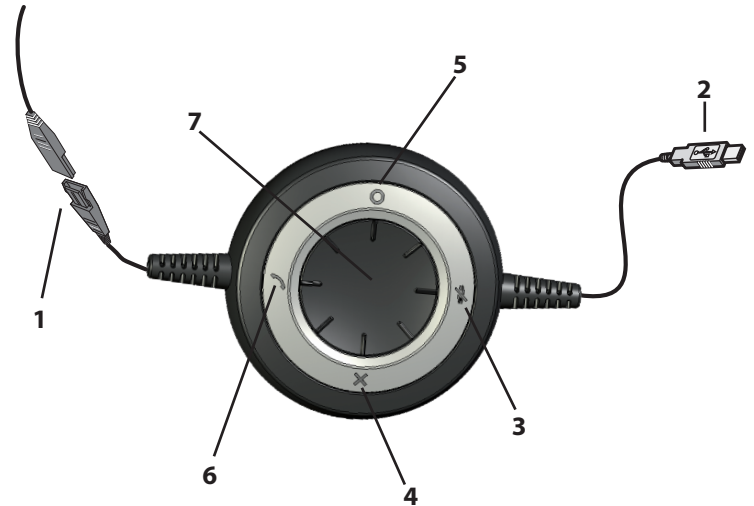
Jabra LINK™ 280

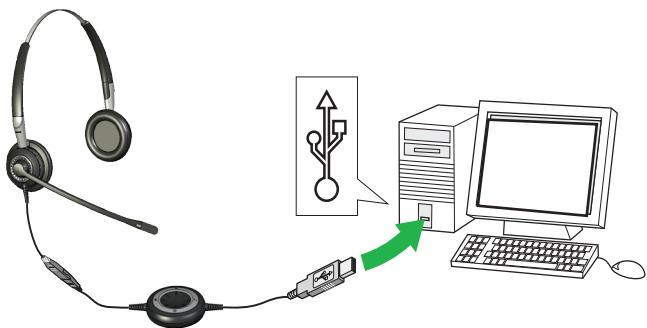
執筆およびデザイン： GN Netcom A/S, Lautrupbjerg 7, 2750 Ballerup, Denmark, www.jabra.com.

はじめに

Jabra LINK™ 280 をお買い上げいただきありがとうございます。この製品をお役立ていただければ幸いです。この取扱説明書では、コントローラの準備方法と使用方法について説明します。

JABRA LINK 280 について

1 **QD プラグ**
2 **USB プラグ**
3 **ミュートボタン**
4 **ソフトボタン (×)**
5 **ソフトボタン (O)**
6 **フックスイッチ**
7 **音量コントロール**

ヘッドセットへの接続方法

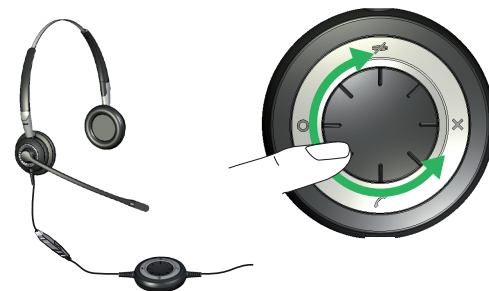
QD を Jabra GN コード付きのヘッドセットの QD に差し込みます。

PC への接続方法

PC の空いている USB ポートに USB プラグを直接差し込みます。接続されると、アクティブなミュートボタンとフックスイッチボタンが点灯します。

初回接続時には、PC のタスクバーに、新しい機器が見つかったことを示す小さいポップアップメッセージが表示されます。これで、いつでもコントローラを使用できます。

コントローラの音量の調節方法

コントローラの中央にあるホイールを使用して、音量を調節します。時計回りに回すと音量が上がり、反時計回りに回すと下がります。音量を調節するたびに、ヘッドセットでカチッという音が聞こえます。

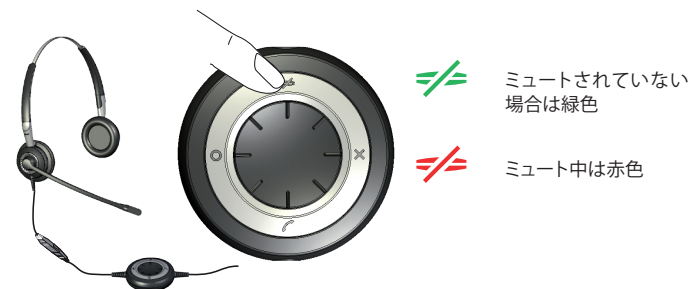
最大音量に達すると、ヘッドセットは警告としてビープ音を 2 回鳴らします。ヘッドセットの最大音量での使用は避けることを推奨します。

ヘッドセットのミュート方法

音や音声がヘッドセットから PC へ転送されないように、ヘッドセットのマイクをミュートすることができます。

ミュートボタンを軽く押すと、マイクがミュートされます。ライトは、緑色の点灯から、赤色の細かい点滅に変わります。ミュートされている間は、赤色の点滅が続きます。

ミュートを解除するには、ミュートボタンを再び軽く押します。ライトが赤色の点滅から緑色の点灯に変わります。

ミュートされていない場合は緑色

ミュート中は赤色

PC ソフトフォンでの電話への応答方法

ソフトフォンの着信があると、ヘッドセットで呼び出し音が聞こえます。

Jabra でサポートされているソフトフォン*を使用している場合は、Jabra Link 280のフックスイッチボタンを軽く押して応答します。通話が終了したら、再び軽く押して電話を切ります。ソフトフォンコントロールを使用するには、Jabra PC Suite (この取扱説明書で後述) をインストールする必要があります。

その他のソフトフォンの場合は、お使いのコンピュータのインターフェイスを使用して、応答および切断を行えます。

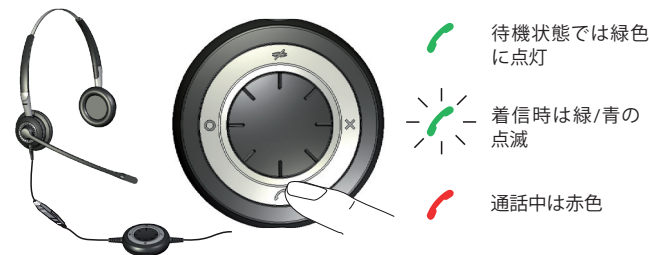
サポートされるソフトフォンを使用している場合は、コントローラのライトが、図の右に示すように動作します。

また、割り当てられたソフトボタンを押し続けることで、着信を拒否することもできます。該当するボタンを押し続けると、着信は拒否されます。

待機状態では緑色に点灯

着信時は緑/青の点滅

通話中は赤色

* サポートされるソフトフォンの最新リストについては、www.jabra.com を参照してください。

オプション機能を有効にする方法

ソフトボタンの使用方法

Jabra Link 280 には 2 つのソフトボタンがあり、それぞれ × および O のラベルが付いています。これらの 2 つのボタンをい任意の機能に使用するように、コントローラをプログラムできます。たとえば、ソフトボタンの一方を、携帯電話への Bluetooth 接続を制御するように設定できます。

詳細については、下記の Jabra PC Suite の使用方法に関するセクションを参照してください。

JABRA PC SUITE のインストールおよび使用方法

Jabra PC Suite は、コントローラの機能をサポートし、拡張するプログラムを集めたものです。www.jabra.com/pcsuite から無償でダウンロードして入手できます。

Jabra PC Suite を使用すると、次のことを実行できます。

- 専用ソフトフォンドライバを介して、複数の種類のソフトフォンプログラム制御する。
- プログラム可能な × および O ボタンに機能を割り当てる。
- ヘッドセットの聴覚保護レベルを設定する。
- ファームウェアを更新する。

JABRA PC SUITE のインストール

Jabra PC Suite をインストールするには、次の手順に従います。

1. ソフトフォンをまだインストールしていない場合は、Jabra PC Suite をインストールする前にソフトフォンをインストールしてください。こうすることにより、Jabra サポートがソフトフォンプログラムに正しく追加されるようになります。Jabra PC Suite をインストールした後で新しいソフトフォンプログラムをコンピュータに追加した場合は、Jabra PC Suite を再インストールすることをお勧めします (再インストールは簡単です)。
2. Jabra PC Suite インストーラを www.jabra.com/pcsuite からダウンロードします。
3. ダウンロードに含まれている setup.exe プログラムを実行します。これにより、Jabra PC Suite がコンピュータにインストールされます。
4. コンピュータの画面に表示される指示に従います。インストールは非常に簡単な操作であり、わずか 1 分程度で完了します。インストールウィザードでの操作にあたっては、以下の点を留意してください。

- Jabra PC Suite には、Microsoft .NET Runtime 3.5 が必要です。これがまだ PC にインストールされていない場合は、setup プログラムが自動的にダウンロードし、インストールします (インターネット接続が必要)。
- ウィザードでは、インストールする Jabra PC Suite コンポーネントを指定するように求めるメッセージが表示されます。通常は、全コンポーネントをインストールしてください。
- Microsoft Windows Vista を使用している場合は、「ユーザーアカウント制御」のメッセージが表示されることがあります。表示された場合は、[許可] をクリックしてインストールを続行します。
- ウィザードでは、Windows の起動時に Jabra Device Service を起動するかどうかを確認するメッセージが表示されます。コントローラと共にソフトフォンを頻繁に使用する場合は、Device Service を有効にすることが推奨されます。

- ある時点で、「Windows　ロゴテストに合格しなかった」旨の警告が表示されることがあります。これは想定内で、問題を示しているわけではありません。[続行] ボタンをクリックしてかまいません。

JABRA PC SUITE プログラム

ソフトウェアをインストールすると、［すべてのプログラム］>［Jabra］>［Jabra PC Suite］というフォルダが、Windowsの［スタート］メニューに表示されるようになります。このフォルダからは以下のプログラムにアクセスできます。

- **Jabra Control Center**

  PC から Jabra Link 280 を設定できます。
- **Jabra デバイスファームウェアアップデーター**

  ファームウェアを更新できます。
- **Jabra デバイスサービス**

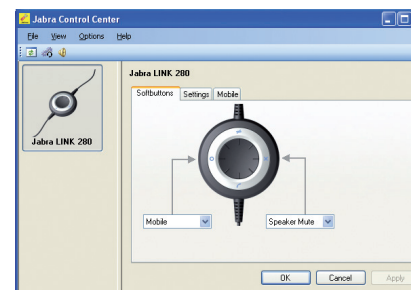
  これにより、Jabra 機器が Windows によって確実に認識され、Jabra Control Center とソフトフォンドライバが Jabra 機器と通信できるようになります。

上記のプログラムに加え、PC Suite は、Skype、Cisco IP Communicator、Microsoft® Lync™ 2010 などの数種類のソフトフォンのドライバーも提供しています。

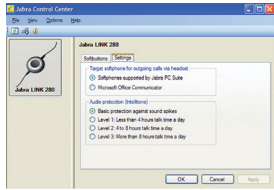
サポートされるソフトフォンを使用している場合は、コントローラのボタンを使用してソフトフォンを制御できます。また、コンピュータのネイティブのグラフィックインターフェイスを使用して、任意のソフトフォンと通話することもできます。

注意： Jabra では、どの新しいプログラムを専用ドライバでサポートすべきかを日々、評価・検討しています。ソフトフォンドライバの開発に関する最新情報については、Jabra Web サイトを参照してください。

JABRA LINK 280 での JABRA CONTROL CENTER の使用方法

Jabra Control Center は、Jabra Control Suite プログラムで、これを使用して Jabra Link 280 でを設定できます。プログラムを実行するには、Windows の [スタート] メニューをクリックし、[すべてのプログラム] > [Jabra] > [Jabra PC Suite] > [Jabra Control Center] を選択します。

Jabra Link 280 がコンピュータに接続されている場合は、関連する設定値が表示されます。これらの設定値は、[Softbuttons]、[Settings]、および [Mobile] (有効な場合のみ) の 3 つのタブに分かれています。それぞれについて次に説明します。

[Settings] タブ

[Settings] タブのオプションを使用して、オーディオ保護 (Intellitone) を制御できます。

ヘッドセットの聴覚保護レベルを設定するには、[Settings] タブの [Audio protection (Intellitone)] エリア内の設定値を使用してください。

聴覚に対するリスクは、騒音の音量と暴露時間の両方に基づいて評価されます。したがって、ヘッドセットの使用時間が長くなったら、その分最大音量を下げる必要があります。コントローラには、4 つの保護レベルがあります。これらの機能を使用すると、ヘッドセットからの音響衝撃が遮断され、ノイズ暴露の最大レベルが制限されるので、聴覚を保護できます。このシステムは、Intellitone™ と呼ばれ、Jabra が独自に開発したものです。すべての保護レベル (“none” を含む) に、突然の大音量を防ぐ Peakstop™ 機能が組み込まれています。

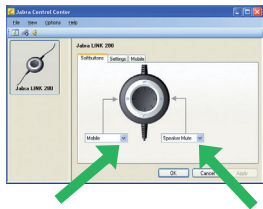
上述の 3 つの Intellitone レベル (“none” 以外) はいずれも、事実上の世界的保護レベルをクリアすると同時に、米国労働安全衛生研究所 (NIOSH) の定める規格と EU の衛生安全規制に基づく 85 dB(A) という騒音レベルに準拠しています。

[Audio protection (Intellitone)] エリアで、毎日ヘッドセットを使用する時間数に一致する Intellitone レベルのラジオボタンをオンにします。

Lync 2010 ソフトフォンを使用している場合は、[Settings] タブで、通話の一次ターゲットソフトフォンを Lync 2010 に切り替える必要があります。

重要: お住まいの国や地域の法律/規制を調べて、特定の保護レベルを使用することが義務付けられているかどうか確認してください。

[Softbutton] タブ

[Configuration] タブの設定値を使用して、ソフトボタン (それぞれ、× および o とラベル付けされている) に機能を割り当てることができます。

ここで、ドロップダウンリストを使用して、2 つのボタンのそれぞれについて使用可能な機能から割り当てる機能を選択します。設定後は、コントローラで対応するボタンを押すと、これらの機能を呼び出すことができます。

通常、これらのボタンは、携帯電話の Bluetooth 接続を制御するように設定されます。*設定方法の詳細については、後述の「コントローラと携帯電話のペアリング」を参照してください。

ステレオ音響で音楽を再生するには、電話が A2DP をサポートしている必要があります。

ファームウェアの更新

ファームウェアを更新することで、コントローラのパフォーマンスが改善されたり、新しい機能が追加されたりすることがあります。お使いの Jabra 製品用のファームウェア更新プログラムが提供されているかどうかを調べるには、Jabra の Web サイトを参照してください。更新プログラムは入手可能になり次第、Web サイトからダウンロードできるようになります。

*お使いの携帯電話と Jabra Link 280 をペアリングする方法については、携帯電話の取扱説明書を確認してください。

注意事項: ファームウェアの更新中は、コンピュータから取り外さないでください。プロセス中にコンピュータがシャットダウンしたりスリープモードやスタンバイモードにならないことを確認してください(意図せずに切断されてしまった場合は、ステップ 1 からやり直してください)。

ファームウェア更新プログラムを適用するには

1. Jabra Link 280 をコンピュータに取り付けていない場合は、取り付けます。
2. ファームウェア更新プログラムを Jabra からダウンロードして、ハードディスクまたはネットワーク上の、コンピュータから表示できる場所に保存します (まだ行っていない場合)。
3. PC 上で [スタート] メニューを使用して、Jabra PC Suite のファームウェア更新アプリケーションを実行します。
4. 画面に表示される指示に従って、お使いのコントローラモデルを識別し、ファームウェア更新ファイルを選択して適用します。詳細については、Jabra PC Suite のオンラインヘルプも参照してください。

携帯電話での使用方法

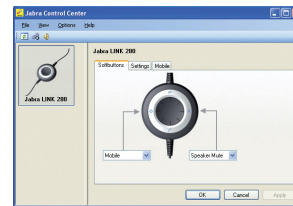
Jabra Link 280 には Bluetooth 回線が組み込まれているため、携帯電話や別の Bluetooth 音源にワイヤレスで直接接続できます。携帯電話に接続した場合は、Jabra LINK 280 のボタンを使用して、着信に応答したり、通話を終了したりできます。

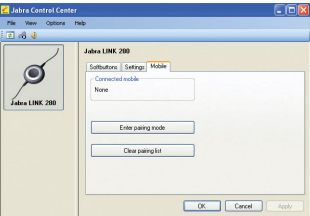
携帯電話とのペアリング

携帯電話と一緒に使用するには、携帯電話とペアリングする必要があります。ペアリングされると、携帯電話の受信範囲内にある場合は常時自動的に接続されます（ペアリングは1度で結構です）。USB 接続から電力を得る必要があるため、コンピュータに接続したままにしておく必要があります。

携帯電話とペアリングするには

1 Jabra Link 280 をコンピュータに接続し、Jabra Control Center を実行します (前述の手順を参照)。

2. Jabra Control Center の [Softbuttons] タブに移動します。コントローラの各ソフトボタンに機能を割り当てるための 2 つのドロップダウンリストがあります。

3. 2 つのソフトボタンのうちどちらを、携帯電話を制御するために使用するかを決定します。該当するドロップダウンリストを開き、リストから [Mobile] を選択します。
4. これで、コントローラのライトが青色に点灯し、コントローラがペアリングモードであることを示します。つまり、ペアリングについて他の Bluetooth 機器に通知しています。
5. 携帯電話で Bluetooth が有効になっていることを確認して、電話を Bluetooth 検出モードにします。検出のための手順は、携帯電話のメーカーやモデルによって異なります。詳細については、携帯電話のマニュアルを参照してください。
6. ペアリング先に指定できる Bluetooth 機器が近くにあるかどうかが携帯電話によって調べられます。JabraLink280もこれらの機器の 1 つとして検出されるはずです。電話のコントロールを使用して、「Jabra LINK 280」機器を識別して選択します。コントローラのパスコードが要求される場合もあります。Jabra 機器のパスコードは 0000 (ゼロ 4 個) です。必要な場合は、このコードを携帯電話に入力し、(［OK］ボタンを押すなどして) コードを確定してください。

7. 携帯電話によって Jabra LINK 280 コントローラとの接続が試行され、試行の結果が表示されます。接続に失敗した場合は、もう一度やり直してください。それでも接続を確立できない場合は、携帯電話のマニュアルを参照するか、Jabra/携帯電話のサポートまでお問い合わせください。

ソフトボタンの機能の 1 つとして [Mobile] を選択すると、Jabra Control Center に [Mobile] タブが表示されます。

ペアリングリストを消去するには、ペアリングされている携帯電話を削除します。[Clear pairing list] をクリックすると、自動的にペアリングモードに入ります。

[Enter pairing mode] をクリックすると、ペアリングモードに入ります。このモードで、携帯電話とペアリングできます。携帯電話をペアリングする手順については、前述の該当するセクションを参照してください。

携帯電話の着信への応答

携帯電話に着信すると、ヘッドセットで呼び出し音が鳴り、Jabra Link 280 のLEDがが青色と緑色で点滅します。着信に応答するには、携帯電話に割り当てたソフトボタンを押します。通話が終了したら、同じボタンを軽く押して電話を切ります。

携帯電話からの発信

携帯電話から発信するには、通常どおり、携帯電話でダイヤルします。通常、ヘッドセットと携帯電話が接続範囲内にあれば、音声は自動的にヘッドセットに送信されます。

特定の携帯電話と Bluetooth 機器との通信方法、およびこの機能のために使用可能な設定値の詳細については、お使いの携帯電話の取扱説明書を参照してください。

トラブルシューティングとよくある質問

Q: ペアリングがうまくいかない。

A: LED が青色に点灯し、ペアリングモードになっていることを確認します。携帯電話もペアリングモードであることを確認するには、その特定の携帯電話の取扱説明書の指示を参照してください。

Q: ヘッドセットから音が聞こえない。

A: [コントロール パネル] 内のコンピュータと使用中のアプリケーションの両方で、Jabra Link 280 がオーディオ機器として選択されていることを確認します。

Q: コンピュータが Jabra Link 280 を検出しない。

A: 別の USB ポートに差し込んでみてください。

Q: ヘッドセットが、コンピュータのデフォルトのオーディオ機器として、自動的には割り当てられない。

A: いつでも、デフォルトのオーディオ機器としてヘッドセットを手動で選択できます。

- コンピュータの [コントロール パネル] に移動します。
- [サウンドとオーディオ デバイス] メニューを開きます。挿入すると、サウンドの再生および録音用のデフォルト機器として、ヘッドセット (Jabra LINK 280 として表示されているはずです) を選択できます。
- [適用]、次に [OK] をクリックします。

Macintosh を使用している場合は、コンピュータの [システム環境設定] に移動します。挿入すると、[サウンド] メニューの [出力 (および入力)] の下でヘッドセットを選択できます。

ご不明な点について

WEB

www.jabra.com

ヨーロッパ

	電話:	電子メール:
イタリア	+ 39 02 5832 8253	ordini@gn.com
オーストリア	+ 49 (0)8031 2651 72	techsupport.de@jabra.com
オランダ	+ 49 (0)8031 2651 72	techsupport.de@jabra.com
スウェーデン	+ 46 (0)8 693 09 00	info@jabra.se
スペイン	+ 34 916 398 064	pedidos@gn.com
チェコ共和国	+ 420 800 522 722	support.cz@gn.com
デンマーク	*Kontakt venligst din nærmeste forhandler (via følgende link) www.jabra.dk/forhandler*	
ドイツ	+ 49 (0)8031 2651 72	techsupport.de@jabra.com
ノルウェー	+ 47 32 22 74 70	support.no@gn.com
フィンランド	+ 358 204 85 6040	support.fi@gn.com
フランス	+ 33 (0)130 589 075	techsupport@gnnetcom.fr
ベルギー	+ 49 (0)8031 2651 72	techsupport.de@jabra.com
ポーランド	+ 48 12 254 40 15 0 801 800 550	support.pl@jabra.com
ルクセンブルグ	+ 49 (0)8031 2651 72	techsupport.de@jabra.com
ロシア		techsupport.ru@jabra.com
英国	+ 44 (0)1784 220 172	info_uk@jabra.com

米国およびカナダ

テクニカルサポート: techsupport@gnnetcom.com

情報: info@jabra.com

電話 (米国およびカナダ国内のフリーダイヤル):

カナダ	1-800-489-4199
米国	1-800-826-4656

アジア太平洋

情報: support.apac@jabra.com

ベトナム callto:sip:support.asia@gn.com

電話:

インド	000-800-852-1185 (フリーダイヤル)
インドネシア	001-803-852-7664
オーストラリア	1-800-140 (フリーダイヤル)
シンガポール	800-8523-794 (フリーダイヤル)
タイ	001-8008526446 (フリーダイヤル)
ニュージーランド	0800770 114 (フリーダイヤル)
フィリピン	1800-765-7022 (ETPI) 1800-1855-0144 (PLDT)
マレーシア	1800-812-160 (フリーダイヤル)
香港	800-968-265 (フリーダイヤル)
台湾	0080-186-3013 (フリーダイヤル)
中国	+ 86-21-5836 5067
日本	+ 81-3-3242-8572

中東/アフリカ

E-mail: support.mea@gn.com

認定規格および安全認可

CE

この製品は、R & TTE Directive (99/5/EC) の規定に従って CE マークを取得しています。ここに、この製品が Directive 1999/5/EC の基本要件およびその他の関連条項に準じることを GN は宣言いたします。詳細は、http://www.jabra.com を参照してください。この機器は、EU において、オーストリア、ベルギー、キプロス、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、ポーランド、ポルトガル、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、オランダ、英国、および、アイスランド、ノルウェー、スイスの各国内の欧州自由貿易地域で使用されることを目的としています。

FCC

本機器は、FCC 規則第 15 条に準拠しています。機器の操作は、以下の 2 つの条件に従って行うものとします。(1) 本機器によって有害な電波障害を生じさせてはいけません。(2) 意図しない操作の原因となる電波障害も含め、受信したあらゆる電波障害を本機器で許容しなければなりません。

ユーザが本機器に変更を加えることは、その方法を問わず一切禁止されています。Jabra によって明示的に承認されていない変更を加えた場合、機器を操作するためのユーザの権限は無効になります。

本機器は、テストの結果、FCC 規則第 15 条に準ずるクラス B デジタル機器の制限に従っていることが認められています。これらの制限は、本機器が居住地域に取り付けられたときに、有害な電波障害に対する適切な保護を提供するためのものです。本機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用、または放射します。製造元の指示に従わずに取り付け、使用した場合は、無線通信に対する有害な電波障害の原因となる可能性があります。

ただし、特定の方法で取り付けたからといって、有害な電波障害が起こらないことが保証されるわけではありません。本機器がラジオもしくはテレビの受信に有害な電波障害を及ぼす原因かどうかは、本機器をオンとオフに切り替えることによって確認できます。本機器が原因の場合は、次の方法をいくつか試して電波障害を解消してください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える。
- 本機器と受信機の間隔を広げる。
- 本機器を受信機が接続されている回線とは別のコンセントに接続する。
- 販売元、または熟練したラジオ/テレビの技術者に問い合わせる。
- 電磁波放射に関する FCC の暴露基準に準拠するため、ベースは人体から 20cm (8 インチ) 以上離れた場所に配置する必要があります。

IC 通知 (カナダ)

機器の操作は、以下の 2 つの条件に従って行うものとします。(1) 本機器によって電波障害を生じさせてはいけません。(2) 本機器の意図しない操作の原因となる電波障害も含め、あらゆる電波障害を許容しなければなりません。

認定/登録番号の前の「IC:」という表記は、適合宣言書に基づいて登録が行われ、カナダ産業省の定める技術仕様が満たされていることを意味するだけであり、カナダ産業省が本機器を承認したことを意味するものではありません。

Bluetooth

Bluetooth® の商標とロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有しており、Jabra では、いかなる場合もこの商標をライセンスのもとで使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に属します。

用語集

Bluetooth

ワイヤーやコードなしで短距離間 (約 33 フィート) で携帯電話やヘッドセットなどの機器を接続する無線技術です。詳細については、www.bluetooth.com を参照してください。

ペアリング

2 台の Bluetooth 対応機器間で固有かつ暗号化されたリンクを確立し、相互に通信させることができる機能です。Bluetooth 対応機器は、ペアリングされていない場合には動作しません。

Jabra PC Suite

GN Netcom ソフトウェア通信コントロールセンター。

DFU

Device Firmware Update の略。機器のファームウェアの更新。

ファームウェア

たとえば、Jabra LINK 280 コントローラなどのハードウェア機器に埋め込まれているソフトウェア。ソフトウェアと同様に、ファームウェアはコンピュータによって実行されるコンピュータプログラムです。

IP テレフォニィ

(Voice over Internet Protocol; VoIP) インターネットや他の IP ベースのネットワークを使用して音声の会話をルーティングすること。

Jabra

A BRAND BY

MADE IN CHINA

www.jabra.com

32-00687 F